

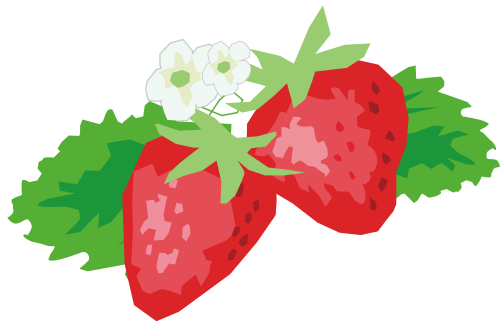
令和2(2020)年度

第2回

地域で輝く
ふくしのチカラ
大賞
グランプリ

公益的取組事例集

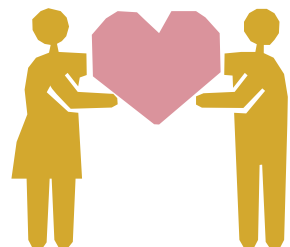
主催 栃木県



目次



- 1 あいさつ
- 2 地域で輝くふくしのチカラ大賞 概要
- 3 受賞者概要
- 取組紹介
- 4 最優秀賞 社会福祉法人 蓬愛会
『み～んなの保健室』(断らない地域丸ごと相談窓口)
- 6 優秀賞 特定非営利活動法人グループたすけあいエプロン
共生型の常設居場所の展開=地域コミュニティづくり&行政との協働=
- 8 特別賞 こども食堂ネットワークかぬま
「こども食堂ネットワークかぬま」の構築
- 10 エントリー団体・取組紹介
- 12 おしらせ



あいさつ

我が国の福祉制度では、子どもや高齢者、障害者などの対象者別の制度の中でサービスの充実が図られてきましたが、近年では、育児と介護を同時に抱えるダブルケアや、80代の親が50代の無職等の子と生活する8050問題など、ひとつの制度では解決できない課題のほか、ごみ屋敷の問題や、主に18歳未満の学生等が祖父母や親、兄弟などの家族を介護するヤングケアラーといった、現行の制度上では適切な支援が行き届かない制度の狭間にある課題が顕在化してきました。

このため、「子ども・高齢者・障害者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる、地域での支え合いによる地域コミュニティを育成し、福祉などの地域の公的サービスと協働して、助け合いながら暮らすことのできる仕組みを構築する『地域共生社会』の実現」に向けた取組が求められているところです。

こうした中、栃木県では、社会福祉法人が行う「地域における公益的取組」をはじめとした様々な活動は、「地域共生社会」の実現に向けて重要な位置づけであると考え、地域福祉の更なる発展と充実に資する活動を行う法人を表彰する、「地域で輝くふくしのチカラ大賞」事業を実施することといたしました。

第2回となる今回エントリーされた法人・団体等の取組につきましては、地域に根差したものや、地域において複数団体による連携が図られている取組などをはじめ、社会福祉法人やNPO法人等の皆様が、その地域のニーズや法人の強みなどを活かし、創意工夫をこらして取り組まれている素晴らしいものでした。

社会福祉法人等による「地域における様々な支え合い活動」の好事例を広く収集・発信するという趣旨を御理解いただき、社会福祉法人はもちろんのこと、地域の多様な主体による新たな参画に当たっての参考にしていただければ幸いです。

保健福祉部長 海老名 英治



ロゴマーク

地域で輝くふくしのチカラ大賞

対象となる取組

地域のニーズと地域における社会資源の有無などを踏まえつつ、各法人が自主性・創意工夫に基づき実施する、地域における公益的取組や地域の支え合い活動の取組を対象とします。

対象団体

- 栃木県内に事業所を有し、地域における公益的取組を行う社会福祉法人
- 社会福祉事業又は社会貢献活動に類する事業を実施し、対象となる取組を行う社会福祉法人以外の法人や団体
- 上記の法人や団体が協働して対象となる取組を実施するグループなど

応募結果と審査について

評価項目

応募受付期間

令和2(2020)年10月1日(木)～12月11日(金)

応募件数

18団体 35事例

審査機関

地域で輝くふくしのチカラ表彰委員会

委員長 赤羽 幸雄

1 地域連携・貢献度

2 創意工夫

3 独自性

4 成果

5 発展・継続性

地域で輝くふくしのチカラ大賞 実践フォーラム

日程 令和3(2021)年2月8日(月)

特別講演

会場 栃木県庁大会議室

Zoomウェビナー形式による配信

「地域共生社会と社会福祉法人等の
地域貢献活動について」

プログラム

講師

第1部 表彰式

東北福祉大学 総合マネジメント学部

第2部 受賞団体 事例発表

教授 高橋 誠一 氏

第3部 特別講演

特定非営利活動法人
全国コミュニティライフサポートセンター 理事

受賞団体



後列 左から特定非営利活動法人グループたすけあいエプロン/こども食堂ネットワークかぬま
前列 ふくしのチカラ大賞表彰委員会 委員長/社会福祉法人 蓬愛会/栃木県保健福祉部 部長 敬称省略

最優秀賞

社会福祉法人 蓬愛会
宇都宮市

『み～んなの保健室』
(断らない地域丸ごと相談窓口)

優秀賞

特定非営利活動法人
グループたすけあいエプロン
高根沢町

共生型の常設居場所の展開
＝地域コミュニティづくり&行政との協働＝

特別賞

こども食堂ネットワークかぬま
鹿沼市

「こども食堂ネットワークかぬま」の構築

『み～んなの保健室』（断らない地域丸ごと相談窓口）

社会福祉法人 蓬愛会



み～んなの保健室

曜日 毎月 第2 第4金曜日 相談無料 予約不要

時間 13:30～15:30

場所 福祉コミュニティ美渉
1階 はつらつジム内
宇都宮市砥上町54-1

電話相談 受付中

健康のこと、病気や家族のこと、介護のこと、
子育てのことなんでも相談してください

どなたでも気軽にお立ち寄りください

問い合わせ 福祉コミュニティ美渉 TEL 649-1165
共催 地域包括支援センター砥上
クリニック美渉・ナースリにここ（宇都宮市認可保育園）

取組をはじめたきっかけは何ですか？

当法人は昭和60年6月に設立以来、高齢者福祉施設を拠点として『人を愛し 今日を楽しく 地域と共に』という法人理念のもと、地域貢献事業に取り組んでいます。

地域共生社会の実現、地域の課題に応える福祉の拠点となるまちづくりを目指して、宇都宮市砥上に平成28年10月、複合福祉コミュニティ美渉を開設しました。法人の人材を地域住民の福祉課題につなげ、地域共生社会の実現にどのように貢献できるかを模索する中で、地域ケア会議や認知症カフェでの地域関係者との意見交換を通して、老老介護、子育ての悩み、介護の不安を抱える高齢者、ひきこもり家族など地域が抱える多種多様な課題が少しずつ見えてくるようになりました。

「誰かに話を聞いてもらいたい」「誰かとつながりたい」という声に対し、地域の皆様から「私たちでよければ悩みを聞いてあげられるよ」「子育ての経験からアドバイスできるかもしれない」といった協力の提案を受けて、お悩み相談窓口を始めることになりました。

どんな取組を行っていますか？

「み～んなの保健室」は赤ちゃんから高齢者、病院へ行くほどではないけれど、自分のこと、家族のこと、ちょっと気になることがあるなど、さまざまな不安や悩み

を地域で相談できる「断らない無料の相談窓口」を毎月第2・第4金曜日に開設しています。

相談は、地域スペシャリストである民生委員、福祉協力員、老人会、行政、医療福祉経験者と施設の専門職員がタッグを組んで行っています。相談内容は健康のこと、介護のこと、育児のこと、障害のこと、家族のこと、その他、心配なことや不安なことなど多岐にわたります。必要時には地域の福祉資源につながるアドバイスとコーディネートを行い、関係機関との連携も図っています。開催案内のチラシを地域で回覧したり、民生委員からご紹介いただいたりすることで、周知を行っています。地域の関係者と協力して行うことで、地域の人材活用にもつながり、生きがい作りにも一役買っているだけでなく、地域との繋がりができることで「なじみの関係」が築かれ、社会参加の輪が広がっています。

相談を利用した方からは、「家族にも相談しづらい状況で精神的に憂うつな気分が続いていたが、不安や自分の思いを聞いてもらうことでスッキリした。また来たい。」といった声が寄せられています。

取組を行う際のポイント

相談者の話を尊重し、傾聴する相談援助スキルの向上を図るため、職員や地域協力員の勉強会を重ねるなど、安心して相談できる環境づくりを心がけています。

取組開始にあたり、地域住民との関わりが深い地域包括支援センターの専門職が軸となり、地域の関係者と施設職員の連携強化を図り、約1年という時間をかけて、地域のニーズの掘り起こしや勉強会を重ねてきました。

これからの活動について

多種多様な課題に対応できるよう、関わる相談の相談支援スキルアップに努めていきます。また、相談者の需要に合わせて開催回数の増加、新型コロナウイルス感染症による外出自粛のなか、外出しなくても気軽に相談できる「電話相談窓口」を設け、公的サービスにつながりにくい方の早期発見に努め、支援につなげていきたいと考えています。



相談室、ヒアリングシート

「今を生きる」を支え、新しい時代にあった

地域福祉に今後とも積極的に貢献してまいりたいと存じます。



蓬愛会が地域支援として、社会的使命を果たすために、これまで様々な取組をしてきました。更に地域ニーズに応じて積極的に活動するため、垣根を超えた福祉コミュニティ美渉が地域のアウトリーチの拠点として、地域の埋もれた力（介護福祉・医療等の専門職）の掘り起こしや地域の協力者と当法人の専門職が一体となり「み～んな一緒」地域丸ごと相談窓口を通して、支える大きな役割を担っております。「今を生きる」を支え、新しい時代にあった地域福祉に今後とも積極的に貢献してまいりたいと存じます。

社会福祉法人 蓬愛会 理事長 大山 知子

団体概要

法人名 | 社会福祉法人 蓬愛会

所在地 | 芳賀郡芳賀町稲毛田1887-4

代表 | 大山 知子

事業内容 | 老人福祉施設、小規模保育事業の経営

評価のポイント

「地域丸ごと相談窓口」として、福祉の枠を超えて「まるごと」相談が受けられることや、専門家、地域協力者による専門性のある相談ができること、そして、専門家、地域の福祉関係者、当事者団体と連携し、地域に根差した活動になっていることが表彰委員の中でも高く評価されました。また、この取組が「カフェ」という他の取組から地域の意見を吸い上げて発展していった点についても評価されたところです。

共生型の常設居場所の展開 ＝地域コミュニティづくり&行政との協働＝ 特定非営利活動法人グループたすけあいエプロン



取組をはじめたきっかけは何ですか？

私たちは、「困ったときはお互い様の相互扶助の精神で誰もが安心して暮らせる地域コミュニティを創ることを目指します」という理念を掲げ、平成7年から住民参加型家事介護サービス事業を開始し、その5年後に始まった介護保険制度の訪問介護事業も行うようになりました。

事業を通して、核家族化、独居、高齢者家族の増加を実感し、孤立防止や生きがいがづくりなどの必要性を感じていました。これからも続く少子高齢社会の中で、困ったときに支えられる地域づくりと、サロンの参加により要介護認定率が下がることや、社会との多様なつながりがある人は認知症リスクが低減することなどを知り、共生型の常設居場所の必要性を感じました。

どんな取組を行っていますか？

平成26年2月から、みんなの居場所「花の丘」を立ち上げました。目標は「だれもが自由に集い、ふれあい、笑顔になれる癒しの場を目指します。」とし、理念は「＝Aging in Place with activity＝“生涯生きがいをもち住み慣れた場所で生活する”としました。

地域の壁や年齢に関わらず、コミュニティづくりを推進するために共生型でかつ常設型の居場所として週5日開設しています。

新しい出会いの場の提供、仲間づくり、自己再発見（生きがいがづくり）、相互扶助精神の活動という指針に基づき、マルシェや介護予防につながる各種運動（3B体操、ヨガ、フラダンス、ストレッチなど）、茶話会や歌声喫茶、カラオケ、定期的な音楽会などのイベント開催、手作り野菜や菓子の販売などを行っています。多くの方に参加していただけるよう、習字教室やパソコンクラブなど地域の元気なボランティアの皆さんに講師をお願いし、参加費300円で参加できる各種教室のメニューを充実させています。

ランチでは1食620円で調理ボランティアが作ったバランスの良い食事を提供し、会食懇談を通じた地域の見守り情報の把握などに役立てています。この他、3km以内は無料で送迎を行っており、高根沢町内だけでなく近隣市町からおいで下さる参加者もいます。コロナ禍の状況でも1か月に約350人前後が参加しています。私たちの取組は、常設型居場所の先行事例として近隣市町村からの視察も増えています。

平成29年2月には、高根沢町の運営協議会、行政との協議の結果、共生型居場所が必要ということで、「花の丘」が一般介護予防事業として認定され、高根沢町内の75歳以上は各種教室の参加費を無料としています。

取組を行う際のポイント

みんなの居場所「花の丘」の運営には地域の元気な高齢者をはじめとした、43～85歳までの幅広い年齢層の方が、ボランティアとして、講師や運営に携わっています。取組に快く協力してくれるボランティアの皆さんが多く、活動の原動力になっています。



ボランティアがつくる食事(ランチ)

これからの活動について

私たちの活動は各方面にも知ってもらうことができ、視察研修等も多く受け入れてきました。ネットワークを構築できたことで風通しのよい関係を作ることができました。また、行政との協働を通じて、信頼関係を築くこともできました。

今後、地域包括ケアシステムの構築、そして地域共生社会づくりのプラットホーム的運営を目指していきたいと思っています。これからの地域社会をイメージしながら、常設共生型居場所の水平展開に努力していきたいと考えています。

みんなの居場所「花の丘」

- ◆場 所 塩谷郡高根沢町花岡1503-9
- ◆実施日 毎週月～金曜日
- ◆費 用 無料
講座参加費 300円
※高根沢町在住75歳以上は無料
- ◆内 容
 - ・マルシェ
 - ・介護予防に繋がる各種運動（3B体操、ヨガ、フラダンス、ストレッチ等）
 - ・茶話会・歌声喫茶・カラオケ
 - ・定期的な音楽界等のイベント開催
 - ・手作り野菜や菓子の販売 等

たくさんの笑い声や笑顔が増えて、心からつくってよかったと思います。
地域丸ごと豊かな交流を目指していきたいです。



花の丘を開設してたくさんの笑い声や明るい笑顔が増えていることを実感しています。多くの方々から喜びの声や感謝の言葉を頂戴し本当につくってよかったと心から思います。
地域の仲間や行政との連携により、居場所がもっともっと各地にできるようにPRして、地域丸ごと豊かな交流から孤立防止や住んで楽しい田舎暮らしができる事を目指していきたいと思っています。

特定非営利活動法人 グループたすけあいエプロン 理事長 菅野 安子

団体概要

法人名 | 特定非営利活動法人グループたすけあいエプロン
所在地 | 塩谷郡高根沢町花岡1503-3
代 表 | 菅野 安子

事業内容 | 非営利有償在宅福祉サービスおよび介護保険事業
・介護予防事業・障害者支援・育児支援・ヘルパー養成講座
・福祉有償輸送サービス・居場所事業 等

評価のポイント

居場所事業に早期に取り組んでいることで他の模範となってきたことや、常設で居場所を設置し、地域の見守り情報の把握や、閉じこもっている高齢者等の社会参加を促す取組が評価されました。また、広く情報発信を行い、地域と連携・協働し、ボランティア等のサポートもありながら地域づくりに貢献していることも評価につながりました。

「こども食堂ネットワークかぬま」の構築

こども食堂ネットワークかぬま



取組をはじめたきっかけは何ですか？

こどもの貧困が盛んにニュース等に取り上げられ、鹿沼市内にはひとり親家庭が多くあり、こどもたちが安心して食事と学習支援を受けられる居場所をつくりたいとの思いから、2017年10月に初めて鹿沼市にこども食堂第1号が誕生しました。

2018年には数か所が設立し、現在栃木県内にあるこども食堂の約5分の1が鹿沼市内で活動をしています。

一つひとつのこども食堂では食材や物資が余ってしまうこともあり、こうした食材のリサイクル運動も視野に入れ、人とモノを循環させたいという思いから、こども食堂のネットワークとして「こども食堂ネットワークかぬま」は誕生しました。

どんな取組を行っていますか？

現在、2021年に新規開設予定のこども食堂を含めた10団体で構成されています。

月1回の定例会や他団体との連携を推進し、鹿沼市社会福祉協議会やJAかみつが、市内の企業からの協力を得て、野菜や鶏肉、調味料などの提供を受け入れ、各こども食堂への配布などを行っています。

各団体でこども食堂の開催日をずらすなどの調整を行うことで、利用者はいつでもこども食堂を利用することができ、こども食堂側は余った食材の融通などを

行うことができるようになりました。

また鹿沼市社会福祉協議会から、ネットワークかぬまのこども食堂ならどこでも無料でお弁当が予約できる共通無料食事券の配布などのご協力をいただいています。月1回の定例会では、鹿沼市社会福祉協議会の方にも出席していただき、食材の循環だけでなく情報の共有の場として、送迎が必要な家庭への対応や困っている家族へケアの方法などを話し合い、よりよい対応ができるようにしています。

こども食堂の新規立ち上げにも協力しており、2021年鹿沼市内には新たに2つのこども食堂がスタートします。このほか、近隣の日光市でもこども食堂の立ち上げの手伝いをしています。

コロナ禍の状況下で本当に支援を必要としている家庭への支援を途切れさせないよう、鹿沼市とも連携し、食事支援や配食などを行いました。現在は、一律300円でお弁当の提供を行っています。

取組を行う際のポイント

●各こども食堂との密なるネットワーク（月1回の定例会をリモートではなく実際に会っての会議）。

●食材は、できるだけ無駄にせず次の曜日のこども食堂に廻す。

●子ども食堂同士の関係性がよい（事業を一緒に行ったり、補助金申請を一緒に作り上げたりする）。

これからの活動について

県内でもこども食堂がネットワークを形成している事例は珍しいと聞きます。

「こども食堂ネットワークかぬま」は地域のこども食堂をサポートし、他団体との連携、こどもたちへ安心安全な居場所を提供、たくさんの人たちと出会う場になるようにしていきたいと考えています。

また、こども食堂を多くの人に知ってもらい、こども食堂の理解者を増やしていきたいと考えています。



こども食堂のチラシ

こども食堂ネットワークかぬま

◆場 所 鹿沼市仁神堂町344-1
(事務局:こども食堂 森のこびと内)

◆所属食堂

・こども食堂 森のこびと	鹿沼市仁神堂町
・より処 たけのこ	鹿沼市上殿町
・こども食堂 こっこん村	鹿沼市千渡
・こども食堂 ノエル	鹿沼市樺山町
・こども食堂 ようき	鹿沼市万町
・こども食堂 晴れるや	鹿沼市緑町
・東部台子ども食堂	鹿沼市緑町
・こども食堂 めだかの学校	日光市今市
2021年開設	
・ゆうゆうこども食堂	鹿沼市楡木町
・こども食堂ピュルテ	鹿沼市睦町

貧困を抱える若者や家庭のケアを、民間レベルで 当たり前のように、ボーダレスの社会をつくっていききたい



「貧困を抱える若者や家庭のケアを民間レベルで当たり前のように、ボーダレスの社会をつくっていききたいと考えます。ネットワークの事務局を担当する縁の下で力持ち加藤美智子氏と共に、市行政、市社会福祉協議会、JAかみつが青年部、市内若者支援事業所等と友好関係を築き、今後も協働のまちづくりを積極的に推進してまいります。」

こども食堂ネットワークかぬま 代表 大出 治夫

団体概要

法人名 | こども食堂ネットワークかぬま

所在地 | 鹿沼市仁神堂町346-2

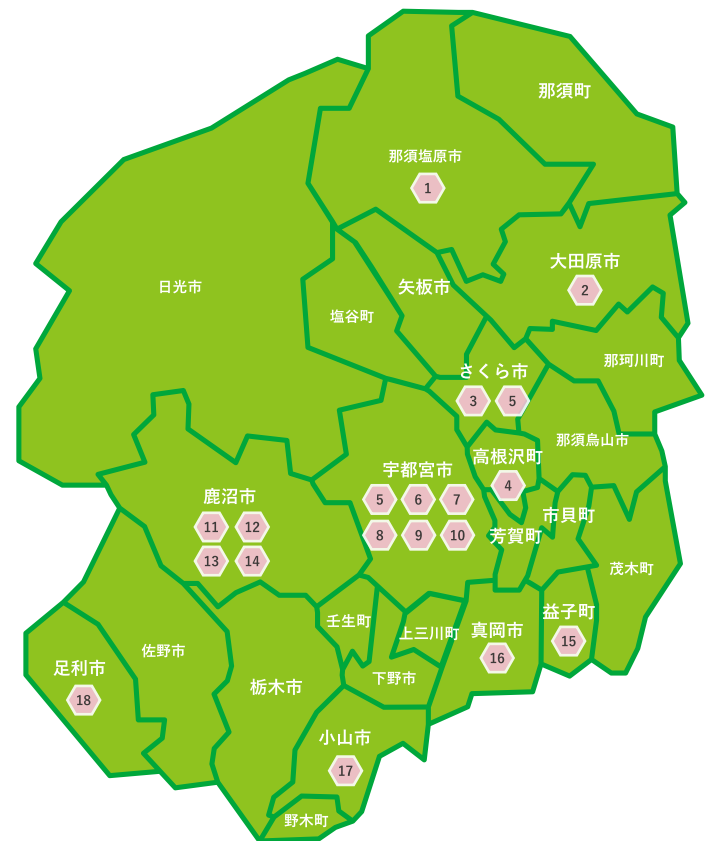
代 表 | 大出 治夫

事業内容 | 鹿沼市内のこども食堂のネットワーク構築、運営サポート等

評価のポイント

社会福祉協議会やJA、農家などのさまざまな関係者を巻き込んで、こども食堂の横展開が図られ、単なるこども食堂の運営ではなく、こども食堂のネットワーク化を図っているということが評価されました。

エントリー団体・取組紹介



- 1 **有限会社KPEC みんなの販売所きいろいぞうさん**（那須塩原市）
産直・販売所の運営
利用者に販売体験の機会を提供すると共に、地域生産者の販売場所の提供および他施設の製品を販売するアンテナショップの運営。
- 2 **社会福祉法人 章佑会 栃木事業部**（大田原市）
外出支援事業
所有車両の空いている時間及び職員を活用して、高齢者の買い物、地域施設の送迎を実施。
- 3 **Sakura mama's KIRE**（さくら市）
地域のママたちで創る子育て支援事業
子育て中の家族が、平日、予約なしでいつでも利用できる施設の運営。定期的にイベントの運営。
- 4 **NPO法人グループたすけあいエプロン**（高根沢町）
共生型の常設居場所の展開
＝地域コミュニティづくり&行政との協働＝
地域や年齢に関わらず地域コミュニティづくりを推進するため、共生型でかつ常設型の居場所を週5回実施。
- 5 **社会福祉法人 蓬愛会**（宇都宮市）
『み～んなの保健室』（断らない地域丸ごと相談窓口） 他、4取組
地域住民から健康、介護、育児、障害、家族のことや心配、不安なことなどを地域協力者（民生委員・福祉協力員・医療経験者）等が相談を受ける。
地域貢献事業（高齢者向けサービス、地域連携サービス、子育てサービス、教育関係・福祉講座講師派遣）（さくら市）
同市内で、高齢者へ配食サービス、介護予防教室の実施、地域介護相談会の開催、地域交流祭りの開催、清掃活動ボランティア、地域防災協定による定期訓練、小中学生介護体験学習会、福祉講座講師派遣を実施。
- 6 **子どものみらい応援隊**（宇都宮市）
子ども塾*わいわい食堂
小中学生を対象に、地域の子供たちの居場所を提供。勉強、遊び、食堂の手伝い（調理や配膳、片付けなど）等はボランティアで活動。

- 7 **一般社団法人 協働福祉とちぎ**（宇都宮市）
福祉有償運送
地域の高齢者・障がい者の方を対象に、通院・買い物・役所の手続等の支援。
- 8 **社会福祉法人 宝生会 グループホームカトレア**（宇都宮市）
認知症サポーター養成講座
キャラバンメイトの資格を持っている職員が講師となり、施設や、薬局での講座の開催を行っている。
- 9 **特定非営利活動法人 チャレンジド・コミュニティ**（宇都宮市）
障がいや難病になんか負けない【なるぞ!! デザイナー】
障害や難病に負けず「デザイナーを目指したい」という夢の実現をサポート。
- 10 **社会福祉法人 長寿栄光会**（宇都宮市）
地域イベントへの会場提供 他、5取組
地域で開催される大きなイベントやお祭りなどに、駐車場や施設の一部を開放。
- 11 **こども食堂ネットワークかぬま**（鹿沼市）
こども食堂ネットワークかぬまの構築
鹿沼市内のこども食堂で構成されたネットワーク組織の運営。他団体との連携を促進し、食材や物資などの循環を行うほか、新規設立のサポートを行う。
- 12 **社会福祉法人 鹿沼市社会福祉協議会**（鹿沼市）
「かぬまひきこもり家族会」の運営
毎月1回、ひきこもりの問題を抱える家族に対し、職員やボランティアカウンセラーが相談を受け付ける。
- 13 **NPO法人 CCV**（鹿沼市）
<地域で生きる> ～地域連携事業～
利用者の就労支援を地域全体で実施。独自の活動を踏まえ、地域産業に関わる事業主とつながり新たな商品・サービスを生みだし、地域活性化・情報発信を行う。
- 14 **社会福祉法人 もろ栄福祉会**（鹿沼市）
災害時の緊急受け入れ 新型コロナウイルス感染対策
台風被害時の緊急受け入れや入浴施設の開放。新型コロナウイルス感染防止のために、地域の小学校、保育園にフェイスシールドの提供。
- 15 **社会福祉法人 同愛会**（益子町）
認定就労訓練
生活困窮者に対する福祉施設内での就労訓練を実施。就労訓練を経て、一般就労へと繋げている。
- 16 **社会福祉法人 飛山の里福祉会**（真岡市）
こども食堂・みんなの食堂 他、1取組
開催場所の特定をせず、担当者を地域の社会福祉法人持ち回りのキャラバン方式で、地域イベント等に合わせた開催を実施。
- 17 **社会福祉法人 バステル CSWおとめ**（小山市）
桑のミクスプロジェクト
地域・障害・労働の3要素をミクスプロジェクトとし、桑の葉を活用した商品生産・開発、養蚕に取り組む。
- 18 **社会福祉法人 美明会**（足利市）
介護者教室
年3回、地域に向けて介護や健康に関する情報提供や交流ができる勉強会を開催。
町内の敬老会のお手伝い 他、5取組
施設を利用して、敬老会を開催。会場設営、祝い膳の提供、余興の手伝い、片付け等の運営を補助など。

栃木県内の社会福祉法人(施設)がみんなで取り組む 栃木県社会福祉法人による「地域における公益的な取組」推進事業

いちご
一会

いちごハートねっと事業

栃木県内の社会福祉法人が「栃木県社会福祉法人による「地域における公益的な取組」推進協議会」を組織し、地域の生活困窮者や福祉制度の狭間で困っている方々に対する相談・支援を行う「いちごハートねっと事業」を行います。

地域において様々な「生活のしづらさ」を抱えながらもどうしてもよいか分からずお悩みの方や必要な支援が受けられない方、孤立している方などに対し、社会福祉施設の持つノウハウや機能、ネットワークを活かし、福祉に関する総合的な相談に応じる「おこまり福祉相談」や各社会福祉施設が特性を活かして取り組む様々な「あんしん支援事業」を実施し、サポートしていきます。
一期一会の出会いを大切に地域の暮らしをネットワークで支えます。

おこまり福祉相談

おこまり福祉相談窓口

参加する全ての社会福祉施設（保育所、児童福祉施設、障害者支援施設、老人福祉施設、救護施設等）で、施設種別の専門に関わらず、「福祉に関する何でも相談窓口」を設けています。

いちごハートねっと事業の看板のある施設にお越しください！



地域にお住まいで、生活や福祉のことでお困りの方や、行政や社会福祉協議会などからご紹介いただいた方の相談をお受けいたします。

受け止める

どのようなご相談にも、丁寧に対応いたします。お困りごとの内容を丁寧に受け止め、適切なアドバイスやサポートを行います。

様々な制度につなぐ

福祉事務所や社会福祉協議会等関係機関と連携し、各種支援制度につなぎます。

あんしん支援事業

例 中間的就労、要援助者緊急支援、子ども食堂、学習支援 など
ニーズに応じたメニュー

地域の社会福祉施設等のネットワークによる支援

地域にある様々な社会福祉施設等と連携して相談者を支援します。

相談を受けた施設での継続的な支援

それぞれの施設の特性を活かした支援事業を実施し、相談者を継続的にサポートしていきます。

※あんしん支援事業は、今後、相談状況等を踏まえて、順次実施していきます。

いちごハートねっと事業 に関するお問い合わせ先

栃木県社会福祉法人による「地域における公益的な取組」推進協議会

〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6 とちぎ福祉プラザ3F 栃木県社会福祉協議会 内
TEL028-305-5515 FAX028-622-5788 URL <https://www.ichigosoudan.jp/>

フェイスブック
はじめました。



包括的な支援体制の確立に向けて 「地域における公益的な取組」のさらなる展開を

地域共生社会の実現を主導する社会福祉法人の姿

「地域における公益的な取組」の積極的な発信を！

- ◆社会福祉法人においては、多様な取組を展開しているにも関わらず、地域における公益的な取組として認識されず、十分な発信をしていない状況も見受けられます。
- ◆その結果、社会福祉法人の姿が、地域住民をはじめ社会にきちんと伝わっていない側面があるため、自らの取組を積極的に情報発信し、社会福祉法人の存在意義をPRし、社会福祉法人が向き合っている地域課題を社会全体で共有しましょう！

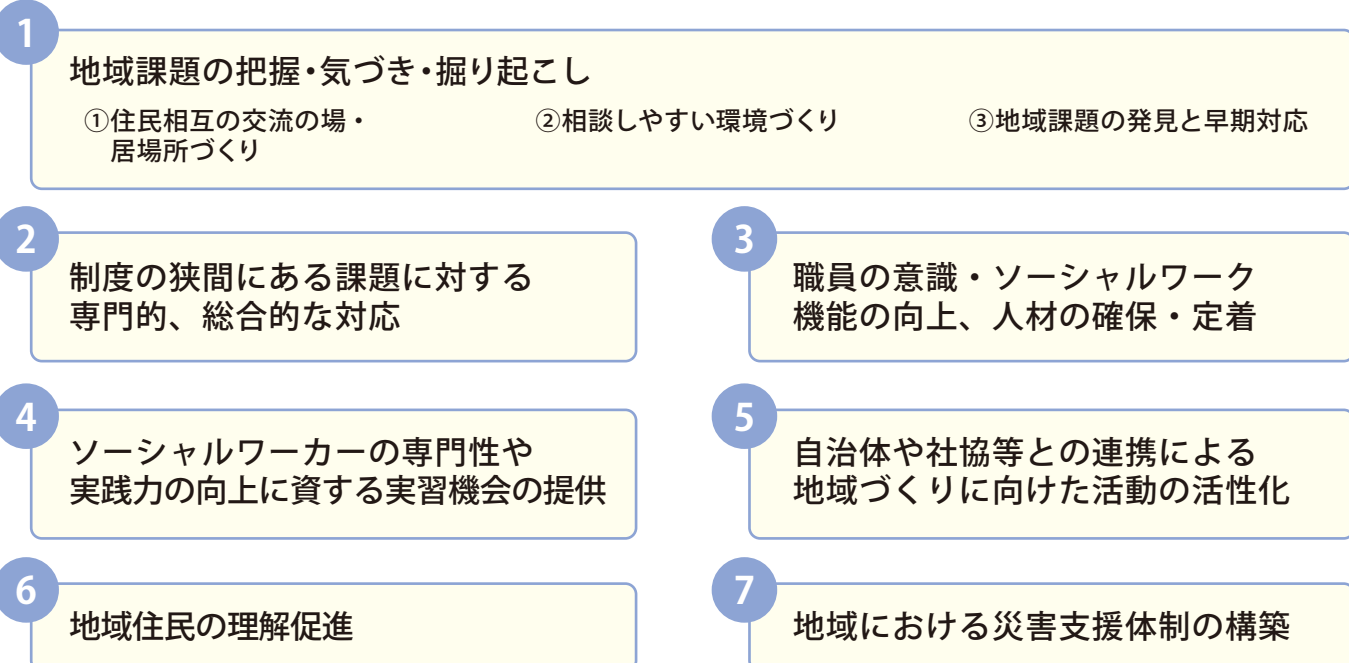
「地域における公益的な取組」により地域共生社会の実現を推進しましょう！

- ◆これまでの実践の延長線上で展開されている多様な取組が、地域共生社会の実現に寄与していることを再認識し、地域での包括的な支援体制の構築に向けて、取組のさらなる拡充をめざしましょう！

複数法人間連携とともに、自治体や社協との一層の連携強化を！

- ◆個々の法人の専門性を活かすとともに、複数の法人が連携して制度の狭間にある課題に向き合い、様々な地域づくりに関わる取組を推進しましょう！
- ◆市町村や社会福祉協議会との連携を一層強化し、地域共生社会の実現に向けて、包括的な支援体制の確立をめざしましょう！

社会福祉法人による「地域における公益的な取組」の社会的な効果、成果



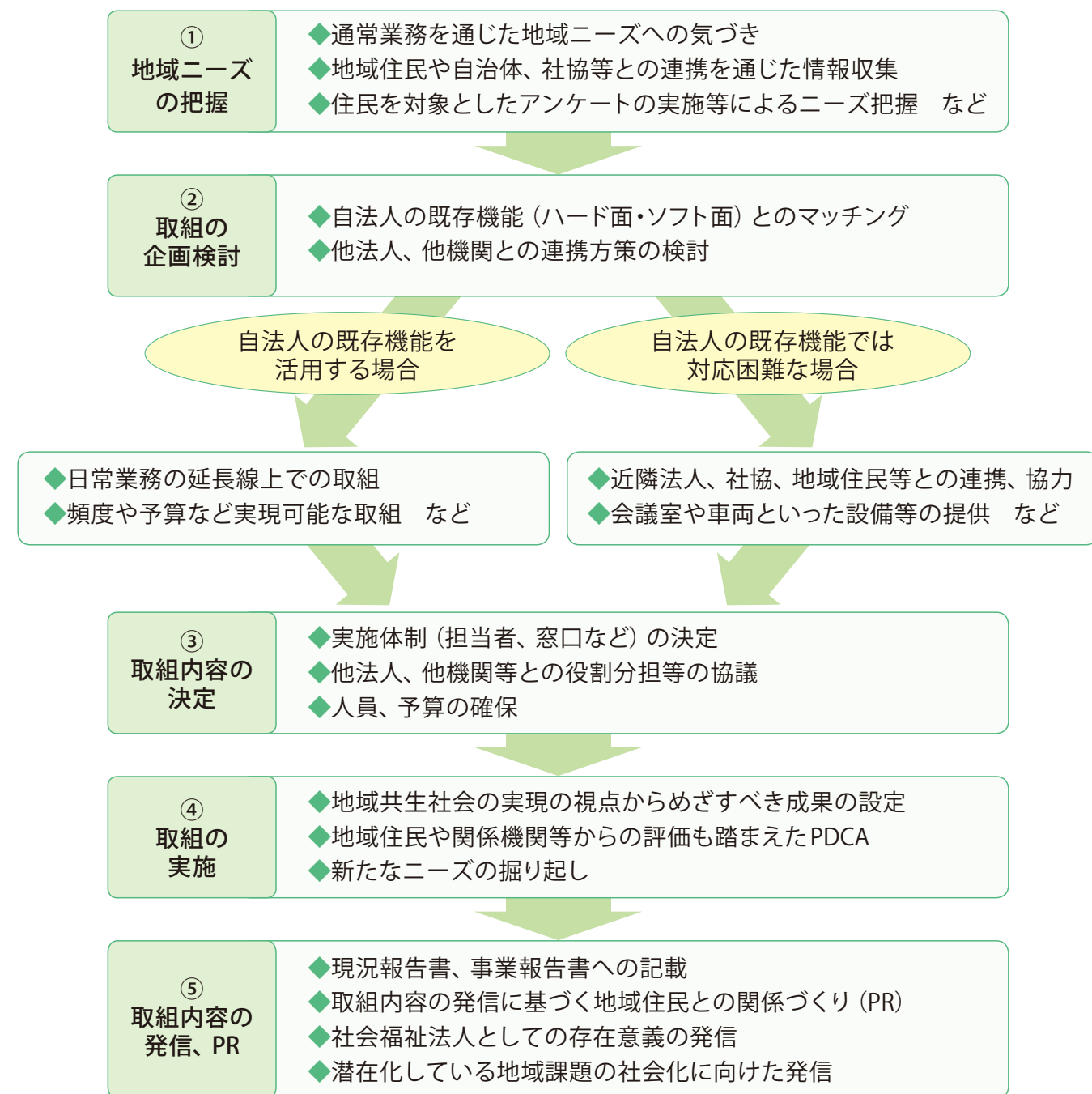
地域における包括的な支援体制の確立

＜地域共生社会の実現＞



◆本委員会では、これまでに収集した実践事例等を通じて、地域共生社会の実現に向けて、「地域における公益的な取組」を展開するうえでの標準的な手順について、以下のように整理しました。

「地域における公益的な取組」の標準的な展開手順



- あくまで多くの事例に共通する手順をもとに整理したものであり、地域の実情や法人の理念、方針、体制などに応じて、独自の工夫が必要であると考えられます。
- 委員会報告書では、より効果的な取組につなげるための工夫やアイデアなど紹介していますので、ぜひ参照ください。

「地域における公益的な取組に関する委員会」報告書
https://www.shakyo.or.jp/tsuite/jigyo/research/20190322_koueki.pdf





地域で輝く**ふくしのちカラ**^{グランプリ}大賞
公益的取組事例集

発行 令和3(2021)年 3月

監修 栃木県
〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1-1-20
栃木県保健福祉部保健福祉課
TEL 028-623-3047 FAX 028-623-3131
URL <http://www.pref.tochigi.lg.jp/>

編集 株式会社 TMC経営支援センター(受託運営)
〒329-3157 栃木県那須塩原市大原間西1-10-6
TEL 0287-67-3023 FAX 0287-67-3024
URL <https://www.tmc-jinji.com/>

<http://hukushinochikara-tochigi.com/>